

# 防衛

Bouei Hokkaido  
December 2016  
Hokkaido  
Defense Bureau  
Ministry of Defense

Vol. 49

# 北海道

平成28年12月号

## 平成28年度第7師団戦車射撃競技会



写真提供：第7師団司令部総務課広報・渉外班

## 台風被害に災害派遣出動



写真提供：陸自北部方面総監部

## 目次

- ・陸上自衛隊北部方面隊の災害派遣活動 … 2
- ・第34回防衛問題セミナー（別海町） … 3
- ・北海道防衛局長から感謝状の贈呈 … 4
- ・北海道防衛施設地方審議会開催
- ・防衛施設と周辺地域との調和を図るために … 5
- ・北海道殉職隊員追悼式 … 6
- ・平成28年度第7師団戦車射撃競技会
- ・陸自北部方面隊平成28年度協同転地演習
- ・絆（きずな）～網走市と網走分屯基地の紹介～ … 7
- ・平成28年度自衛官募集 … 8
- ・北海道日本ハムファイターズ優勝

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会

札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎

Tel.011-272-7579

<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



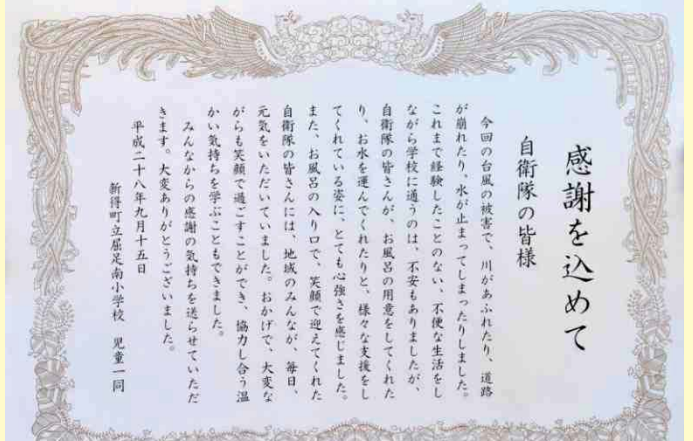
# 一連の大雨被害における陸上自衛隊北部方面隊の活動について

北海道は、去る8月20日から31日にかけて相次いで接近した台風により、甚大な被害を受けました。

北部方面隊は、北海道知事の要請に基づき、8月20日から9月18日までの30日間、管轄する師・旅団が災害派遣隊を組織し現地に災害派遣し、行方不明者捜索、給水・入浴・輸送支援等を実施しました。

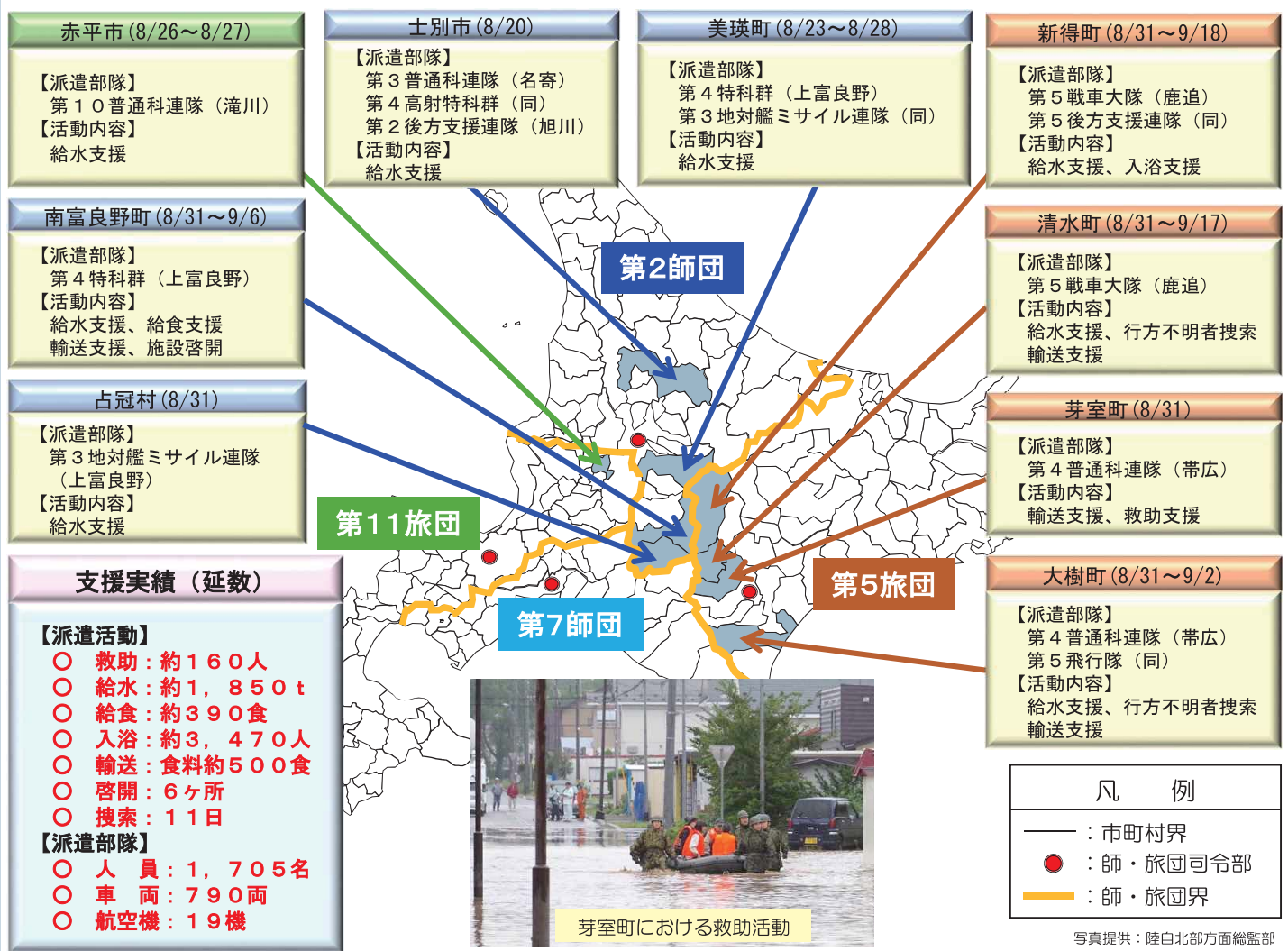
各派遣部隊は、地元市町村等関係機関と緊密に連携するとともに地域の方々の目線に立った支援を心がけて各種支援活動等を行いました。派遣部隊に対しては、入浴支援に従事していた隊員が地元小学生から感謝状をいただく等、地域の方からも感謝の言葉を掛けていただきました。

今後とも、北部方面隊は、部隊の錬磨に努め、あらゆる事態に迅速に対応し、地域の皆様の安全と安心を支えてまいります。



入浴支援に対し新得町内の小学生から感謝状が贈呈された

## 陸上自衛隊北部方面隊による災害派遣活動の状況(8月20日～9月18日)



# 第34回防衛問題セミナーを別海町で開催

テーマ:別海町で学ぶ  
隣国ロシアの動向と道東の守り



北海道防衛局は、平成28年11月10日（木）に別海町において「別海町で学ぶ隣国ロシアの動向と道東の守り」をテーマに、別海町、別海町商工会、別海町自衛隊協力会及び自衛隊帯広地方協力本部の後援を頂き防衛問題セミナーを開催し、約120名の方々にご来場いただきました。

## 主催者及び後援者挨拶



北海道防衛局 吉田 局長

別海町 曾根 町長

冒頭、吉田北海道防衛局長から開催挨拶を行い、続いて別海町の曾根町長からご挨拶をいただきました。

## 講 師



防衛研究所 山添 主任研究官

第5旅団司令部 天本 幕僚長

その後、防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室の山添主任研究官から「ロシアの論理と軍事」、陸上自衛隊第5旅団司令部幕僚長の天本1等陸佐から「道東の防衛」と題し、それぞれ約1時間、講演を行いました。

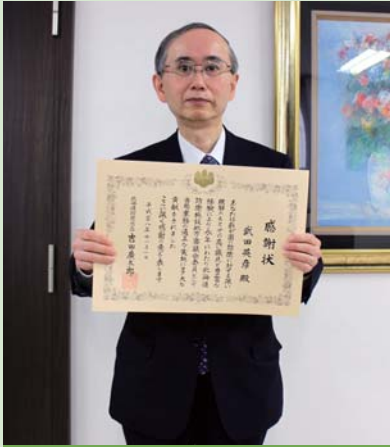
来場者からは、「ロシアとの関係が理解でき、有意義だった。」、「自衛隊を身近に感じる事ができた。」などの声が寄せられました。

当局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動等について、多くの皆様にご理解を深めていただけるよう、今後も各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。

# 北海道防衛局長から感謝状の贈呈

北海道防衛局は、毎年、当局業務の円滑な運営と防衛施設の安定的な使用に対し積極的な協力と多大な貢献をされた方々を表彰するため、局長から感謝状を贈呈しています。

今年度は、元北海道防衛施設地方審議会委員で弁護士の武田英彦氏と登別市長の小笠原春一氏に感謝状を贈呈しました。



武田 英彦氏

北海道旭川市出身（1954生まれ）  
昭和54年～ 弁護士（札幌弁護士会）  
平成18年11月  
～28年11月 北海道防衛施設地方審議会委員



小笠原 春一氏

北海道登別市出身（1967生まれ）  
平成20年 8月～ 登別市長（現在3期目）  
平成20年 8月～ 登別市自衛隊協力会顧問  
平成25年 11月～ 登別市幌別駐屯地体制強化期成会顧問

## 平成28年度北海道防衛施設地方審議会開催

平成28年11月16日（水）、北海道防衛局において、平成28年度北海道防衛施設地方審議会が開催されました。

同審議会は、北海道防衛局長からの諮問に依りて、自衛隊等の施設等に係る不動産等に係る権利の対価の額に関する事項及び自衛隊等の使用により不動産等について生じた損失の補償額等に関して調査審議し、必要と認める事項を同局長に建議する機関として、7名の有識者による委員で構成され、北海道防衛局に置かれています。

同日の審議会には委員全員が出席し、2年間の任期満了に伴う委員互選による会長及び会長代理の指名が行なわれ、石崎委員が引き続き審議会会長を、阿部委員が新たに会長代理を務められることとなりました。

引き続き、委員に対して当局の多様な業務のうち特に漁業補償業務について、施設補償課長から説明を行い、その後、わが国唯一の機甲師団である陸上自衛隊第7師団が所在する東千歳駐屯地へ赴き、田浦第7師団長を表敬、同駐屯地の概況説明を受けた後、主要な施設の視察などを行いました。

田浦第7師団長を交えて記念撮影



写真提供：第7師団司令部総務課広報・渉外班

### 北海道防衛施設地方審議会委員

氏名	職名
会長 石崎 岳	社会福祉法人 北海道リハビリ 理事長
会長代理 阿部 和加子	書道わか葉会 主宰
山内 睦夫	山貴服飾株式会社 代表取締役社長
稲葉 勝巳	一般財団法人日本不動産研究所 北海道支社長
本下 裕之	みずほ信託銀行株式会社 札幌支店長
川添 卓司	東日本高速道路株式会社 北海道支社長
祖母井里 重子	祖母井・中辻法律事務所 弁護士

(敬称略)

# 防衛施設と周辺地域との調和を図るために

## ～道路改修事業の紹介～

防衛施設周辺の道路においては、自衛隊等の車両の頻繁な通行により、道路の路面や路床などが損傷したり、一般車両とのすれ違いに支障を来すなどの障害や周辺交通への影響が生じたりすることがあります。

道路改修事業は、こうした障害を防止又は緩和するために地方公共団体が必要な工事を実施するとき、防衛省が「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づき、その工事に要する費用の全部又は一部を補助するものです。

平成28年度には北海道防衛局は、道内の8市町の9路線における道路改修事業に対して、約6億5千万円を補助しています。

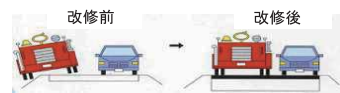
今号では、これらの事業の中から、平成23年度から平成28年度にかけて実施した美唄市の事業をご紹介します。

### 障害の状況及び事業内容

**路面の損傷** 通行車両により、路面あるいは路床が損傷し、通常の維持が困難な場合、舗装の補修を実施。



**緊急活動** 自衛隊等の飛行場等周辺において、航空機の事故等に際し緊急避難・消防救難活動の円滑化を図る必要がある場合、車道の拡幅等を実施。



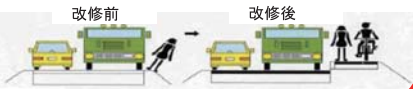
**砂塵の飛散** 通行車両による砂塵等の飛散により、沿道の建物、田畑等に障害が認められる場合、改良及び舗装を実施。



**離合困難** 通行車両により、道路交通に障害が認められる場合、車道の拡幅、改良及び舗装を実施。



**歩行者の安全** 通行車両により、歩行者あるいは自転車走行が危険な場合、歩道等を設置。



### 【美唄駐屯地周辺市道西21線改良舗装事業（美唄市）】

市道西21線は、美唄駐屯地の大型車両の通行により一般車両とのすれ違いが困難となったり、未舗装道路であるため砂塵が飛散するなどの障害が生じていたことから、これらを緩和すべく本路線の拡幅改良及び舗装整備を実施しました。

整備前



整備後



【位置図】



【事業の概要】

事業年度：H23～H28  
 事業費：約377百万円  
 補助額：約264百万円  
 （補助率：7/10）

内容：  
 延長1,984m、車道幅員5.5m

【市の担当者の声】

未改良であった本路線が改良舗装されたことで、車両通行時に砂塵を飛散させることがなくなり、また、拡幅によって車両同士のすれ違いがスムーズとなったため、道路利用者の安全で円滑な交通を確保することができるようになりました。

## 北海道殉職隊員追悼式



平成28年度北海道殉職隊員追悼式が10月15日、陸上自衛隊真駒内駐屯地で挙行されました。

追悼式は、新たに認定された3柱の殉職隊員の遺族をはじめ、執行者の山崎北部方面總監、共催者である中西大湊地方總監、城殿北部航空方面隊司令官、吉田北海道防衛局長ら約330名が参列し、昭和25年の警察予備隊創設以来の殉職隊員304柱の冥福を祈りました。

式典では、国家斉唱に続き、北部方面音楽隊による「国の鎮め」を演奏する中、参列者全員が拝礼、黙とうを行いました。

写真提供：陸自北部方面總監部

## 平成28年度第7師団戦車射撃競技会

第7師団は、10月24日から28日までの間、北海道大演習場島松地区（恵庭市）の第1戦車射場において、師団戦車射撃競技会を実施しました。

本競技会は、戦車射撃能力の向上を図ることを目的として行われ、第7師団から第71、第72、第73各戦車連隊と第7偵察隊、第11旅団の第11戦車大隊、第5旅団の第5戦車大隊が参加し、90式戦車152両、隊員約500人が集結し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

4日間にわたる激しい競技の結果、第73戦車連隊第1戦車中隊第2小隊が優勝し、ベスト・プラトゥーンの称号を授与されました。連隊対抗の部では第71戦車連隊、中隊対抗の部では第73戦車連隊第1戦車中隊がそれぞれ優勝し、統裁官である田浦第7師団長から表彰されました。



横隊による行進射撃の様相



田浦師団長からベスト・プラトゥーンの帽子を授与される第2小隊の隊員

写真提供：第7師団司令部総務課広報・渉外班

## 陸自北部方面隊 平成28年度協同転地演習



苫小牧港からナッチャンWorldに乗船する90式戦車



乗船待機中の各種車両

北部方面隊（總監山崎陸将）は、平成28年10月12日から11月15日までの間、長距離機動に必要な統制・調整能力の向上を図るとともに、転地先における訓練を通じ、方面隊の即応性の向上を図ることを目的として、平成28年度協同転地演習を実施しました。

本演習は、各部隊の陸海空路による各種移動手段と民間の航空機・船舶等を併用して人員約700名、車両約300両（各種戦車、装輪装甲車、地对艦誘導弾発射機、水際地雷敷設装置等）の部隊を日出生台演習場（大分県）、十文字原演習場（大分県）、種子島、奄美大島等、長距離移動、輸送し、転地先で訓練するものです。

特に今回は、今年3月に防衛省が事業契約を結んだ高速マリン・トランスポート社が運行・管理する双胴船「ナッチャンWorld」（船長112m、速力30ノット、最大積載量1,500t）を利用した演習となりました。

写真提供：陸自北部方面總監部

# 絆

(きずな)

## ～ 網走市と網走分屯基地の紹介 ～



「豊かなオホーツクに活みなぎるまち」  
**網走市**

〒093-8555 北海道網走市南6条東4丁目  
<http://www.city.abashiri.hokkaido.jp/>



水谷洋一市長

### ■市長あいさつ

**網走市**は北海道の東部オホーツク海に面し、世界遺産の知床や阿寒、大雪山の3つの国立公園に囲まれた網走国定公園の中心に位置し、市街地近くには知床連山を眺望できる名勝天都山や、市街地を貫流する網走川、ラムサール条約登録湿地の瀧沸湖をはじめ大小5つの湖が織りなす水と緑の美しい景観を有しております。



「天都山から望む網走湖」

気候は、一年を通じて晴天が多く、年間降水量・降雪量は少ない地域であります。また、海に面するため寒暖差も少なく、寒気も海流の影響もあり内陸部に比べると和らいでおり、寒冷な北海道においても過ごしやすい地域であるとともに、地震や台風など自然災害が少ない地域であります。

今後、人口減少社会に向け、基幹産業である北海道特有の大規模な農業、豊かな漁場を有する水産業、流水や知床世界遺産を背景とした観光業を軸とした産業振興や雇用創出、地域特性を活かした交流人口の拡大、安全・安心して暮らせる街づくりを推進し、自然環境がもたらす豊富な地域資源を活かした「おいしいまち網走」の創出を図ってまいります。

「流水と砕氷船おーろら」



### ■網走分屯基地との関わり

網走分屯基地は毎年、市民を対象にヘリコプター体験搭乗を実施していますが、たいへん人気のある行事となっております。

市内の各種イベントにおいても基地のご協力をいただいております。2月の「あばしりオホーツク流氷まつり」で隊員の皆さんが制作する氷のすべり台と雪の迷路は、毎年子どもたちに大人気で市民や観光客の注目を集めています。

防災の面でも非常に力強い存在です。今後とも様々な場面でご支援、ご協力を頂きながら市勢発展に取り組んでまいりたいと考えております。



ヘリコプター体験搭乗



「あばしりオホーツク流氷まつり」で雪像制作



警戒監視レーダー

### 網走分屯基地



に所在する第28警戒隊は、航空自衛隊北部航空警戒管制団の隷下部隊のひとつであり、オホーツク海方面における空の警戒監視に365日24時間休むことなくあたっています。

当基地は、網走国定公園の中の能取山々頂（標高262m）に所在しますが、基地全体が国定公園の中にあるのは、航空自衛隊でも大変珍しいことです。また、基地からは一面のオホーツク海と世界遺産の知床の山並みが広がる、道東らしい雄大な自然を見ることができます。

当基地の歴史は、昭和27年4月に米軍が能取岬に展開、翌年3月現地に移転したことから始まります。昭和30年5月に航空自衛隊が展開し、昭和33年7月には米軍から航空自衛隊に任務が全面移管されました。その後、数度の変遷を経て、平成14年からは、第28警戒隊が分屯しています。

地元と自治体や住民の方々とは、良好な関係を築いており、地元では親しみを込め「岬の自衛隊さん」と呼ばれております。網走で行われる行事に積極的に参加して、地域住民の皆様との交流を大切にしています。

当基地は、地元のご理解及びご協力をもちまして、昨年、無事に創設60周年を迎えることが出来ました。これからも訓練を精進にし、地元から愛される部隊であるように努めてまいります。



平和を、仕事にする。

# 平成28年度自衛官等募集案内



募集種目	応募資格	受付期間	試験期日	合格発表	
自衛官候補生(男子)	18歳以上27歳未満の男子	年間を通じて行っております。	札幌・旭川・函館・帯広の各地方協力本部へ直接お問い合わせ下さい。	合格発表は試験日にお知らせします。	
防衛大学校学生	一般(後期) 高卒(見込含)21歳未満の男女(自衛官は23歳未満)	29年 1月21日(土)～ 1月27日(金)	1次：29年2月18日(土) 2次：29年3月10日(金)	1次：29年3月 3日(金) 最終：29年3月17日(金)	
陸上自衛隊	高専・科学学校生徒 推薦	※1	11月1日(火)～ 12月2日(金)	29年1月7日(土)～9日(月) ※いずれか1日を指定されます。	29年1月18日(水)
	一般	男子で中卒(見込含)17歳未満の者	11月1日(火)～ 29年1月6日(金)	1次：29年1月21日(土) 2次：29年2月2日(木)～5日(日)	1次：29年1月27日(金) 最終：29年2月17日(金)
貸費学生	技術	※2	11月1日(火)～ 29年1月10日(火)	29年1月28日(土)	29年4月下旬

※1：男子で中卒(見込含)17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を修め、学校長が推薦できる者

※2：大学の理学部、工学部の3・4年次又は大学院(専門職大学院を除く)修士課程在学(正規の修業年限を終わる年の4月1日現在で26歳未満(大学院修士課程在学者は28歳未満))

◆他の種目や詳しい内容は最寄の自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。



札幌地方協力本部  
011(631)5472



旭川地方協力本部  
0166(51)6060



函館地方協力本部  
0138(53)6241



帯広地方協力本部  
0155(23)5882



## 北海道日本ハムファイターズ2016年日本シリーズ優勝 ～ファイターズとどさんこ愛～

打ったーッ! やったーッ! 勝ったーッ!

平成28年10月29日夜、北海道中が歓喜に沸きました! 4年前の忘れ物を手に入れた、10年間北海道民が待ちわびた、北海道日本ハムファイターズが日本シリーズ優勝を決めた瞬間です。

今年は、6月の時点で首位のチームに最大11.5ゲームも水を空けられ、一時は「もうだめか。」と気落ちさえしていました。ところが、その後、猛追し、15連勝という大波を起こし、デッドヒートを繰り広げ、とうとうパ・リーグ優勝をもぎ取り、そしてついに、日本シリーズを制したのです!

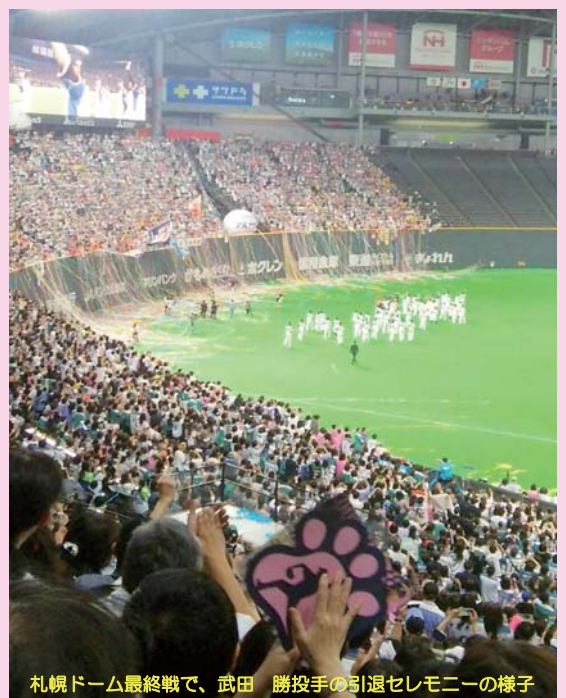
日本ハムファイターズが北海道へ移転して今年で12年目、北海道民のファイターズ愛はすっかり根付き、今では熱い想いを寄せるファンがたくさんいます。チームの本拠地である札幌ドームへ集まる観客はいろいろで、親子、カップル、友達同士、お一人様、おばちゃんグループ、ガールズグループ等々、老若男女がファイターズを応援し、一喜一憂し、そしてファイターズから元気ももらっています。

私は、札幌ドームでのファイターズ応援が好きです。投手が不調の時は、観客皆が拍手で応援します。選手への野次はほとんどありません。また、相手チームのエラー等を揶揄することも好みません。

私は、この応援姿に「北海道民のおおらかさ」を感じます。明治時代、日本各地から開拓民が入植し、助け合い支え合って厳しい環境の北の大地を切り開き、今の私たちの暮らしの礎を築いてくれました。お互いを受け入れ合う寛容さが北海道民の遺伝子に受け継がれているのではないかと思います。

今年も野球シーズンが終わって2ヶ月余り、北海道は長い冬です。どさんこファイターズファンは、キャンプの様子を伝える報道番組を、そして開幕戦を楽しみに、春が来るのを待っています。

(N)



札幌ドーム最終戦で、武田 勝投手の引退セレモニーの様子